

CLUB NEWS

クラブニュース

・本欄はJARLの登録クラブの行事等を掲載しています。[秋号原稿締切：8月20日]
 ・原稿を送る場合の文字数は、最大でも1行18字詰めまで50行程度とします。
 ・文字量が多い場合は掲載をお断りすることがあります。

原稿入稿について

- 文字数最大=18字詰め50行程度
- 締切=掲載希望月の前々月の20日
- 記号の意味
- 時日時 場場所 内容 周波数(モード) 申込(申請、書類提出)先 提出書類(方法) 問い合わせ先 参加資格 Eメールほか 注意 ク=クラブ 費用・申請料ほか 締切
- コンテストなどの結果は入賞局のみ掲載

EVENT

イベント

アキシマクジラ発見60周年 記念局運用

昭島市アマチュア無線同好会 10-1-110 昭島市内、その近郊に在住するアマチュア無線を趣味とするメンバーで、2004年に昭島市が市制50周年を迎えた時に会員数35名で結成された社会教育関係団体。今から60年前(1961年)に昭島市内の多摩川河川敷でクジラのほぼ全身の化石が発見されました。そのクジラは世界で唯一の新種で「アキシマクジラ」と称され昭島市のシンボルとなっています。今年には化石発見60周年の年となり、市の教育福祉総合センター愛称「アキシマエンス」には昨年からアキシマクジラの全長13.5mの実物大化石レプリカを展示。クジラ化石発見60周年とアキシマエンスでの化石レプリカ展示を広く知っていただきたいと考えアマチュア無線局「8N1961AK」を開局。運用期間は7月4日～9月5日を予定。アキシマクジラ化石発見50周年には、8N1WHALEのコールサインで国内・国外へPR発信。60周年となる本年は、化石発見の年1961を織込んだ記念局コールサイン8N1961AKで多くの局とのPR交信をおこないたいと思っています

第10回

大阪880万人訓練に参加

Team7043 近畿支部 25-4-81 大阪府域全域と外部広域に対してアマチュア無線による非常通信訓練、Webによるロールコールを実施 9月3日(金) 13:33～2時間 ※訓練開始合図が出たら運用開始 日本国内のアマチュア無線局

7.050MHz, 439.34MHz, 145.50MHz, D-STAR(個人指定), 1294.41MHz AM, Wires-X #20740-D 予備(Wires-X #22102, 7.123MHz) <内容> 13:33過ぎ～15:30 SSB/FM/DV/AM/C4FM <交信方法> RS交換+JCC, JCG+OP交換 <CQ出し方> ○CQ訓練, CQ訓練 こちらは大阪880万人訓練参加局! ○ハッシュタグを用いてWebロールコール電文伝達訓練も併用して実施。SNSを使って電文送信訓練をおこなう(#情報, #支援, #要請, #報告) ○KEY: 439.34MHz, 145.50MHz: JH3IUY 訓練開始時間 13:33～1時間 7.050MHz: JF3YYE(Op JH3DMQ) 13:33～1時間 Wires-X#20740, D-Star(JH3DMQ個人指定) 14:33～1時間 1294.41MHz AM: JA3XQ013: 33～1時間 ※7.050MHzが海外局の運用で混信があれば7.123MHz+-で実施 ※WiresX-#20740-D/EMGが直前NGの場合は、#22102-D/EMGに移行 ○KEY局の運用時間等詳細は、Team7043ブログ(<http://team7043.blog.fc2.com/>)参照 ○大阪府危機管理室HP(http://www.pref.osaka.lg.jp/shobobosai/training_top/)参照 ※災害が予想される場合は訓練中止 ※2022年9月2日(案)第11回大阪880万人訓練にも参加予定 閏Team7043近畿支部代表 JH3DMQ 水谷宗弘 Eメール: jh3dmq@jarl.com

第28回2mSSBグループ 福岡一斉移動

◇2mSSBグループ福岡 40A-1-21 本年も恒例の一斉移動をおこないます 7月24日(土) 18:00～25日(日) 08:00 144.110MHz付近SSB <移動予定地> ○豊前市(4019)犬ヶ岳(標高約1000m)センター: JG2DBL ○八女市(4007)高取山(標高約800m): JE6GPF・JE6MIN ○那珂川市(4037)九千部山(標高約600m): JF6RVW ○嘉麻市(4033)馬見山(標高約900m): JG6MFD ○糸島市(4036)火山(標高約200m): JF6QWI <その他> 当日天候不良等の理由で運用を中止する場合があります。エリア指定、タイムテーブルはありません <連絡先> 2mSSBグループ福岡事務局 JG6MFD



平田利彦 jg6mfd@jarl.com

CONTEST





コンテスト





第40回電通大コンテスト

◇電通大クラブ 10-2-2 7月17日(土) 17:00～20:00(JST) 国内のアマチュア無線局, SWL ※シングルオペに限る(シングルオペであればゲストオペ, 社団局からのシングルオペも可) 3.5～50MHz帯のJARL主催コンテスト使用周波数帯 <電波型式> CW <部門> ○オールバンド部門(任意の2バンド以上を使用), ○各シングルバンド ○SWL ※参加できる部門は一人一部門 ※シングルバンド部門は二つのバンドまでログ提出が可能。その際、電子ログは2通に分けて送信 ※SWL部門は使用するバンドの区別はしない <部門コード> ○オールバンド部門: AB ○シングルバンド部門 3.5MHz: S35, 7MHz: S7, 14MHz: S14, 21MHz: S21, 28MHz: S28, 50MHz: S50, SWL部門: SWL <呼出> CQ UEC TEST <コンテストナンバー> RST+都府県支庁ナンバー+従事者資格コード <従事者資格コード> ○1アマ: H ○2アマ: I ○3アマ: L ○UEC局: UEC ○プロ・旧資格者, 7J局は該当アマ資格を送信 ○従事者資格は所持する最高(相当)の資格を送る。ゲストオペの場合は運用者の資格を送信 ○UEC局の定義: 電気通信大学の大学院生, 学部生, 研究生, 短大生, 聴講生, 教職員, 各OB。次の組織のOBもUEC局と定義。「官立無線電信講習所」「中央無線電信講習所」「社団法人電信協会無線電信講習所」 ○海上(MM)局の都府県支庁ナンバーは00。これは得点計算のマルチの1つとして計上できる ○コンテスト参加中の運用場所の変更はMM局以外認めない <得点> H局: 2点, I局: 3点, L局: 4点, UEC局: 5点 ※SWL局の得点も上記に準じる <マルチプレイヤー> 異なる都府県支庁数(MM局の00もマルチとして有効) <総得点> ○シングルバンド: 得点の和×マルチ ○マルチバンド: 各バンドの得点の和×各バンドのマルチの和 <入賞局数> エントリー局数30以上: 上位3局, 11～29局: 2局, 10局以下: 1局 <ログ提出

>電子メール ○JARL電子ログ提出のフォーマットに従って8月31日までに uectest-logs@ja1zgp.com ※メールは必ずテキスト形式で送る。自動応答メールが2〜3日経っても帰ってこない場合は問合せ先まで  uectest-info@ja1zgp.comへ <結果発表>JA1ZGPのウェブサイトに掲載。コンテスト結果(コンテスト冊子)の郵送希望者は、返信用封筒に210円分の切手を同封して、〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 電気通信大学無線部電通大コンテスト係宛へ郵送(コンテスト冊子はA4サイズ) ※新型コロナウイルスの情勢を考え、冊子の配布に関して送付が困難である場合は中止。中止となった場合はJA1ZGPのウェブサイトにてその旨を明記。参加局数に応じて優秀な局には賞状 <個人情報の取扱い>当クラブは、個人情報を取得した際の利用目的の範囲内で当コンテスト業務遂行(集計・審査・賞状発送)のために利用する。また、コンテスト開催日時等の告知にも利用 <禁止事項>○本コンテスト開催中に、インターネット等を通じて外部からの運用情報の入手、外部への運用情報の発信をおこなうことを禁止(RBN、クラスタ等) ※使用が発覚した場合、該当局を失格 <その他>JARLコンテスト規約に準じる  <https://www.ja1zgp.com/>


第42回KCJコンテスト

◇全国CW同好会 10-4-68  ※提出ログを照合し一致したQSOのみ得点を認める 必ずログ提出をお願いします ※今回から全員に参加証と、ログ照合によって得られるアワードを発行 ※海外局の送信ナンバーをCQ Zoneに変更し、海外局同士の交信に得点を認める ※1.9MHz帯と50MHz帯の使用周波数をJARLコンテスト規約に準じて1801~1820kHz、50.050~50.090MHzに変更  8月21日(土)21:00JST~8月22日(日)21:00JST  国内外のアマチュア局、SWL  特別記念局と特別局(8N、8J、8Mで始まる局)は、チェックログ <部門コード・部門名>○CP: シングルオペマルチバンドQRP部門 ○CA: シングルオペマルチバンド部門 ○C18: シングルオペ1.8MHzシングルバンド部門 ○C35: シングルオペ3.5MHzシングルバンド部門 ○C7: シングルオペ7MHzシングルバンド部門 ○C14: シングルオペ14MHzシングルバンド部門 ○C21: シングルオペ21MHzシングルバンド部門 ○C28: シングルオペ28MHzシングルバンド部門 ○C50: シングルオペ50MHzシングルバンド部門 ○CM: マルチオペマルチバンド部門 ○SWL: SWLマルチバンド部門 ○DX: 国外局マルチバンド部門 ○CL: チェックログ 注1) シングルオペはコンテスト

に関する操作を一人でおこなうこと 注2) 個人局のゲスト運用はマルチオペ部門 注3) マルチオペ部門は参加した全てのオペレーター名を記載 注4) チェックログは部門ではないが、コードを記載 注5) QRPは空中線電力5W以下とし、ATTやPower Control等の低減措置による実測値でも  1.8~50MHz帯(3.8MHzバンドとWARCバンドは除く) ※使用周波数はJARLコンテスト規約に準じ、1.9MHz帯は1801~1820kHzを使用 ※1820~1825kHzはCQを出す国外局を呼び出す場合にのみ使用可 <電波型式>CW <交換ナンバー>○国内局: RST+運用場所の都府県と地域名略称 ○国外局: RST+CQ Zone番号 注) 運用場所が常置場所と異なる場合はJR8YLY/1のように、ポータブル表示を付加 <得点>○国内局: バンドごとに国内局との交信1点、国外局との交信2点 ○国外局: バンドごとに国内局との交信2点、国外局との交信1点 <マルチプライヤー>○国内局: バンドごとに異なる都府県と地域数+CQ Zone数(1バンドで最大102マルチ) ○国外局: バンドごとに異なる都府県と地域数(1バンドで最大62マルチ) <総得点>バンドごとに集計した得点の合計×バンドごとに集計したマルチの合計  ○ログ入力はJARL様式またはCabrillo様式を推奨 ※詳細はKCJ HPコンテストページのログの提出要領を参照。「コンテストログ作成サービス」で簡単に提出書類が作成できます ○時刻はJARL様式はJST、Cabrillo様式はUTCで記述 ※止むを得ずJSTとUTCが混在する場合は、時刻に「J」または「U,Z」を付記 ○電子メールまたは郵送で提出する場合は、サマリーシートも添付 ○QRP部門は空中線電力を記載 ○問合せのため、電子メールアドレスの記載を推奨  ○当会ウェブサイトから提出(推奨): <https://www.kcj-cw.com/> ○電子メールで提出: 2021kcjtest@kcj-cw.com ※電子メールの件名はコールサインのみ ○郵送: 〒574-0056 大阪府大東市新田中町4-7 中村孝行(JO3MQY)宛 ○電子ログをUSBメモリーやSDカードの郵送も可。切手を貼った返信用封筒の同封で返却 ※媒体が損傷しない包装とすること  9月4日(土)郵送も必着 <ログ照合>提出されたログを相互に照合し一致している場合にのみ得点とマルチを認める。相手局のログが提出されていない交信は無得点 <結果発表>○結果は会報「ザ・キー」10月号、KCJ HPで10月1日頃に発表 ○メールアドレスを記載してログを提出した局には、照合結果を電子メールで連絡 ○この電子メールに記載されたURLのアクセスで、結果・会報・参加証・アワードがダウンロードできる ○期日を過ぎてても照合結果の電子メールが届

かない場合は、下記の連絡先アドレスに連絡 ○郵送でログ提出し切手140円分を同封した場合は、結果を記載した会報を郵送 <表彰>○国内局・各部門の上位5%、かつ5位以内の局・各部門の上位50%以内、かつ各マルチエリア1位の局 ○国外局: 各DXCC エンティティ1位の局 注) SWLも同様 <参加証>コールサイン、名前、得点、順位等を記載したPDF参加証のダウンロードが可能 <参加記念品>全てのログ提出者を対象に抽選で若干名に参加記念品を進呈 ※失格局と国内便で送付不可、住所記載のない局は除外 <表彰状>○入賞局には入賞通知電子メールを送るので、記載されたURLにアクセスしPDF賞状をダウンロード ○紙賞状の郵送希望者は10月31日までに、下記連絡先記載のアドレスに連絡 ○郵送でログを提出した入賞局には紙賞状を郵送 <禁止事項>○シングルオペの2波以上の同時発射 ○マルチオペの複数地点からの運用 ○マルチオペの同一バンドにおける2波以上の同時発射 ○複数のマルチエリアでの運用(同一マルチエリア内の移動運用は可) ○固定運用と移動運用を併用しての参加 <失格>電波法令、当規約に違反、または秩序を著しく乱したとKCJコンテスト委員会が判断した場合 <異議申立て>○結果発表後、異議のある場合は具体的な証拠を添えて10月10日までに下記へ申出る・電子メール: 42kcj-qstn@kcj-cw.com ○郵送: ログ提出先へ期限までに到着 <連絡先>質問、電子メールの不達などの連絡、紙賞状の郵送またはPDF賞状のメール送付希望、異議申立てなどの連絡先メールアドレス: 42kcj-qstn@kcj-cw.com <KCJCAの発行>PDFアワードを無償で授与 ※詳細はP.79のアワードをご覧ください **【都府県と地域名略称】** 宗谷SY 留萌RM 上川KK 空知SC 石狩IS 根室NM 後志SB 十勝TC 釧路KR 日高HD 胆振IR 檜山HY 渡島OM オホーツクOH 青森AM 岩手IT 秋田AT 山形YH 宮城MG 福島FS 新潟NI 長野NN 東京TK 神奈川KN 千葉CB 埼玉ST 茨城IB 栃木TG 群馬GM 山梨YN 静岡SO 岐阜GF 愛知AC 三重ME 京都KT 滋賀SI 奈良NR 大阪OS 和歌山WK 兵庫HG 富山TY 福井FI 石川IK 岡山OY 島根SN 山口YG 鳥取TT 広島HS 香川KA 徳島TS 愛媛EH 高知KC 福岡FO 佐賀SG 長崎NS 熊本KM 大分OT 宮崎MZ 鹿児島KG 沖縄ON 小笠原OG 南鳥島MT

第6回ACC2021 マラソンコンテスト

◇インターナショナルアワードチェイサーズクラブ(ACC) 10-4-139  8月23

日(月)00:00J~8月29日(日)23:59J <対象>国内外の個人アマチュア無線局(社団局とSWLは除く) ※ACCの開設している社団局JN1YMP・JN1ZGI・JR4YOL(以下ACCクラブ局と略す)は個人局と同様に参加できる。HARCバンドを除く、全アマチュアバンド ※バンドごと、モードごとの部門は設けない <通信対象>すべてのアマチュア無線局 <呼出方法>通常の方法 ○ACCメンバー通信「CQ ACC TEST」○電話「CQ ACC コンテスト」 <通信方法>通常の交信でRS(T)レポート交換+ACCメンバーはナンバー(数字4桁)またはMを付ける <禁止事項>○ネット、ロールコール中の交信(開始前、終了後なら可) ○マルチオペレーターによる運用 ○クロスバンドによる交信 ○2波以上同時に電波を放射 ○自局の運用情報をWebクラスターなどでセルフスポッティングまたは、第三者に依頼 ○呼出周波数を使用 ㊦同一局との交信は期間中を通じてモードまたは運用場所が異なっても各バンドで1回限り ○ACCクラブ局に限り、期間中に前日まで異なる県または支庁で運用すれば、別局扱い。メンバー局や一般の相手局は各バンドで1回交信できる 例)ACCクラブ局が1・2・7日目東京都、3・4日目埼玉県、5・6日目千葉県で運用すればそれぞれの県単位で別局扱い。北海道の場合は支庁単位 ※ACCクラブ局は表彰対象にしない ○運用地の変更は自由 ※移動の場合は運用地の市郡区町村コードナンバー等をログシートの備考欄に記入 <得点>○ACCメンバー局との交信10点、コールサインAまたはCが含まれていれば+10点で20点 ○一般局との交信1点、コールサインにAまたはCが含まれていれば+10点で11点 注)今年修正して少し単純にしました 例1)メンバーJA1IQK, JJ1CWX, JM1ASM局は、AまたはCが含まれているので20点 例2)メンバーJE1F1D, JI1KWV, JK1DZT局は10点 例3)一般局JH1QTC, JA1QRA, 7L5AQR局はAまたはCが含まれているので11点 例4)AまたはCを含まない一般局は1点 ※一般局同士の交信も可 <マルチブライヤー>運用日数(最大7日) <チェックリスト>交信局数が100局以上はチェックリストを提出 <交信の必要条件>ACCメンバーとの交信数が3局以上を含み、交信局数が5局以上 ㊦郵送:JARL形式のサマリーシート・ログシート(A4判)または同形式。参加証希望の場合はSASE(定形最大の長3封筒に宛先を記入して84円切手を貼付け)同封 ○Eメール:JARL形式でメール本文に貼付け、またはTXT形式かCSV形式を添付ファイルで送る。サブジェクトは提出局のコールサインを半角英数字、Eメールで提出した局

には参加証を添付pdfファイルで送る ㊦9月30日(木)必着 ㊦〒131-0032 東京都墨田区東向島3-16-16 JA1IQK 田場 征 ○Eメール: acciqk1@gmail.com <失格事項>提出書類の不備、虚偽の報告、交信局数が100局以上でチェックリストなし <審査>上位入賞者から提出されたログをコンテスト委員会で審査し、内容に疑問(例:コールサインの誤記)などがあれば、本人の申告された電話やメールで問合せを確認。疑義があれば必要に応じて交信相手局に免許や交信の確認などを問合せることがある <ルールの準用>上記以外はJARL制定コンテスト規程・規約を準用 <表彰>○メンバー局の得点上位3位までに表彰状と賞品、4~7位に表彰状 ○一般局の得点上位2位までに表彰状と賞品、3~5位に表彰状 ※ログ提出局数より表彰局数を増やすことがある ○参加局数に応じて第6回の飛び賞を設定して賞状(紙またはpdf)を送る <発表>審査終了後に結果をACC HPに発表。JARL NEWSに表彰者を発表予定 <その他>規定にない事項を含めて、ACCコンテスト委員会の決定を最終決定

JLRS第50回 パーティーコンテスト

◇Japan Ladies Radio Society (JLRS) 10-4-2 <目的>YL局の各バンドでのアクティビティ増進と各局との交流を深めるため ※ログの提出先と規約が変更 ※CWの日程に注意 ㊦電話:9月25日(土)12:00~9月26日(日)12:00(JST) ○電話:10月16日(土)12:00~10月17日(日)12:00(JST) ㊦全世界のアマチュア無線局※社団局、記念局、体験局との交信は有効ですが、チェックログ H1.9~1200MHz(WARCバンドを除く) ※1.9~430MHzはJARL制定コンテスト周波数帯に準じる <部門>OM, YLの電信、電話各2部門 ※電信、電話は別々に申請 <条件>○同一場所からの運用 ※電信と電話で異なる場合は可 ○JLRSメンバー(DXメンバー含む)を1局以上含む ※メンバー局を含まない場合はチェックログ ※OMどうしの交信は無効 <呼出>○電話:OM「CQYL」YL「CQコンテスト」○電信OM「CQYL」YL「CQTEST」 <通信方法>○ナンバー交換 OM:RS/T+001より始まる連続番号 YL(メンバー外):RS/T+2001より始まる連続番号 JLRSメンバー(DXメンバー含む):RS/T+5001より始まる連続番号 ○バンドが異なっても連続番号を続けて送る ○バンドが異なれば同一局との交信は有効 <禁止事項>クロスバンド(モード)、レピータによる交信、ゲストオペによる運用 <得点>○OM局:メンバー局5点、メンバー外YL局1点 ○YL局:OM局1点、YL

局5点 <マルチブライヤー>各バンドで交信した局の異なるプリフィックスの総数(JA1, JE1, JF1, 7K3等) <総得点>各バンドで得た得点の和×各バンドで得たマルチブライヤーの和 ㊦電子ログ:できればJARL様式のSUMMARYSHEET VERSION=R1.0で ○紙ログ:サマリーはJARLの様式に準じる、参加部門を明記 ○ログはバンドごとに、マルチはプリフィックスで記入(JA1等) ○参加証(ステッカー)希望の場合はサマリーの意見欄に明記 ○Eメールアドレスをお持ちの方はできるだけ記入(連絡用) ㊦〒182-0016 東京都調布市佐須町1-3-29 松崎美智子 JI1SXB ○Eメール受付可 jil1sxb.log@kpe.biglobe.ne.jp ※提出先が変わりました <賞>各部門1位~3位とサプライズ賞に賞状と50回記念品 ○参加賞(ステッカー)は部門ごとに発行 ㊦ステッカー:1枚100円(切手)+SASE(返信用封筒に定型料金の切手貼付) ※2部門入用の方は2枚分同封 ㊦jil1sxb@jarl.com ㊦10月31日(日)消印有効 <順位表>ステッカーと同封(順位表のみ希望の方はSASEにて請求) <その他>規約、メンバーリスト希望の方は9月1日以降にSASEにて請求

第18回雑コンテスト入賞者

◇Japan Ladies Radio Society(JLRS) 10-4-2 ㊦2021年3月3日実施 丸数字:順位 【OM部門】①JI1UPL ②JF3BFS ③JE1NVD 【YL部門】①JQ1ARQ ②JI1JRE ③JF1UOX

第73回 オール横浜コンテスト

◇日本アマチュア無線連盟・横浜クラブ 11-1-5 ○協賛:YokohamaDXClub ㊦7月18日(日)05:00:00~06:59:59(JST) ㊦日本国内のアマチュア無線個人局(クラブ局、ゲストOPは不可) H28MHz帯(JARL主催コンテスト周波数に準じる) <参加部門>エントリーは次の1種目()内:コード ○市内電信電話(CM) ○市内電信(CW) ○市内電話(CP) ○市外電信電話(XM) ※上記4種目の別に複合参加として一般団体(クラブ)対抗を設ける、ただし複数参加の場合のみエントリーを認める <呼出符号>○電信「CQYC test」○電話「CQ横浜コンテスト」 <コンテストナンバー>RS(T)+区コード番号 <通信相手>全ての(参加局)との交信が有効 ※市外局は横浜市内局と1回以上交信 <得点>完全な交信で次の得点(ボーナス局「JA1YCS」との交信は特記事項参照) ○市内局:市内、市外局との交信は電信3点、電話2点 ○市外局:市内局との交信 電信3点、電話2点、市外局同士の交信は電信、電話1点 <マルチブライヤー>○横浜市内

局：行政区+市外(最大19マルチ) ○市外局：市内行政区(最大18マルチ) ※市外局同士の交信はマルチ「00」にならない<総得点>得点の和xマルチの和 ㊦○ログ・サマリーシートの提出は電子メールを推奨 ○郵送の場合はJARL 制定または同等様式で用紙はA4判を使用。紙ログは、手書きのみ受付、印刷したものは受付けない ○電子メールの場合JARL 電子ログ提出要項に準じてテキスト形式で添付でなく本文貼付。JARL フォーマットはR1.0使用 ※テキスト形式(Zlog,Ctestwin他)以外はファイル添付 メール件名は必ず「横浜コンテスト」+「コールサイン」記入例)横浜コンテストJA1XXX ○運用場所は1カ所とし移動局はサマリーシートに郵便番号が示す町名まで明記 ○移動局との交信でログに移動の明記の無いものは無効(例/1) ※移動局は毎回コールサインの後に移動符号を送信 ○同一局との電信、電話の交信は有効 ○ログ未提出局との交信は未確認のため得点とならない(参加局はログまたはチェック・ログの提出をお願いします) ○クラブ対抗に参加の局は登録正式クラブ名をサマリー「登録クラブ対抗」欄に明記 ※略称不可 ○新人賞は、開局5年未満の再免許申請をしていない局が対象 ※再開局は除く。該当される方はサマリー意見欄に局免取得年月日、生年月日を明記 ○昨今の電力事情等を考慮し最大送信出力を200Wに制限 ○省エネを推奨するためQRP賞を設ける。送信出力5W以下の局が対象、サマリーに送信出力を明記、QRP符号の送付は不要 ※要注意：JA1XXX/QRPはコールサインでない ○その他の規則はJARL コンテスト規約に準じる ㊦○郵送：〒232-0071 横浜市南区永田北3-7-3-305「コンテスト係」山岸 純 ○Eメール：jn1dnv@jarl.com ※Eメールの受領に対し返信。郵送ログでもサマリーにEメールにアドレス記載があれば受領返信 ㊦7月28日(水)郵送当日消印有効、Eメール7月28日23:59 <情報公開>結果公表にコールサイン、氏名、運用場所も記載、了承のうえ参加されたい <結果送付>サマリーにEメールアドレス記載局、Eメールアドレスのない希望者はSASE(94円)同封 <表彰>○市内電信電話、市内電信、市内電話、市外電信電話、クラブ対抗の各部門の上位3位まで表彰 ○新人賞、QRP賞、特別賞を用意。表彰式は9月25日(土)を予定日【区コード番号表】鶴見区01 神奈川区02 西区03 中区04 南区05 保土ヶ谷区06 磯子区07 金沢区08 港北区09 戸塚区10 港南区11 旭区12 緑区13 瀬谷区14 栄区15 泉区16 青葉区17 都筑区18 市外00 <特記事項>○ポーンナ局「JA1YCS」と交信した場合、市内、市外、電信、電話に関係なく5点 ○JA1YCS

と交信された方にはQSLカードをJARL 経由で1WAYで発行【アワード「WAY賞」発行の特例】※WAY賞は横浜市の全区(18区)と交信することが条件 ○本コンテストでの交信により、WAY賞を申請できる ※One Dayの扱いはしない。特記事項にコンテスト名称を記載 ○申請の受付は本コンテスト結果発表後から翌年のコンテスト開催日まで ○申請は別途、サマリーシートを用意し「WAY賞申請」と記入し氏名にローマ字を記載して(コンテストログ不要)申請料500円(切手100円×5枚)を同封し下記のWAY賞係へ郵送 ※表彰式当日に現金(500円)でも申請を受付 〒222-0011 横浜市港北区菊名4-1-10「WAY賞係」高野博 <第72回オール横浜コンテスト専用サマリー・ログ>JARL形式のログ作成が不慣れの方、紙ログで郵送される方のために専用ログフォーマットを用意。Excelで作成、簡単に項目ごとに入力ができます。専用サマリー・ログはクラブHPからコピーして利用 ※以前のは正しく計算できませんので使用しないでください

七タコンテスト15周年記念

◇筑南アマチュア無線クラブ 14-4-32 ㊦7月1日(木)00:00~7月10日(土)23:59(10日間) ㊦日本国内で運用する(JD1を含む)アマチュア個人局で交信局数が20局以上 <電波型式>電話部門(SSB, FM, AM) 電信部門(CW) ※申請は、いずれか1部門 ㊦3.5~430MHz帯 <種目>○オールバンド(電話部門、電信部門) ○シングルバンド(電話部門) <部門>①一般局部門(OM, YL) ②メンバー局部門(OM, YL) ※②にはメンバー局、クラブ主催の特別局含む <交信相手局>国内(JD1を含む)の個人局(クラブ局は無効)、国外(DX)局はすべて個人局として扱い双方のRSレポートを交換 ○申請にあたり、各自の責任においてYL局を(YL)、DX局を(DX)、メンバー局(ポーンナ局)を(B)、特別局等を(8J)と備考欄に記号を記入し得点とともに一行すべて必ず赤字(赤線引きでも可)で記入 ※赤字表示がない物はすべて1点扱い ○クラブ局はサフィックスのトップレターがY, Zで始まる局、各地域で運用するJARL局は無効 <得点>交信1局につき国内のOM局:1点, DX局:5点(OM, YLを問わず)、国内のYL局:10点、国内の記念局:10点(プリフィックスが、8J, 8N, 8M等で始まる局)、ポーンナ局:25点 ※OM, YLを問わず全メンバーを対象 <特別得点>5月1日~6月30日までに運用する当会が指定した事前PR局との交信は、バンドごとにいずれか一局を1回だけ特別局扱いで、局数1と得点25をログに記載して良い(指定した事前PR局は、HPで確認) ※特別得点の扱いに

限り、交信した全モードを有効 <総得点>○シングルバンド:交信局数×得点 ○オールバンド:バンドごとの交信局数の和×バンドごとの得点の和 ※同一局との交信は、バンドが異なれば得点 ㊦○期間中、相手局との交信はバンドごとに1回とし、重複局、クラブ局の合計が総数の2%を超えてログに記入した場合は失格 ○他のコンテスト等での交信も規約の条件を満たしていれば得点 ○総得点が同数の場合、交信局数の多い局を上位 <禁止事項>○同居の家族同志の交信(一方が移動運用でも不可) ○各クラブ等のローカル時の交信 ○クロスバンドによる交信 ○ゲストオペレーターによる運用 ○レピータ・衛星等の中継装置の使用による交信 ○JQ1YRB以外のクラブ局(社団)等との交信 ○高得点、マルチを得る目的でおこなう他のバンドへのQSY等の依頼交信 ○クラスターの使用(活用)、掲載等 ㊦○JARL様式のサマリーシート、コンテストログ(A4判の片面印刷)に準拠し、ログは交信順に記載し必ずRSも記入、1頁50局(40局に限り可)とし必ず野線付き ※当コンテストに必要な交信のみ抽出し記載、他のコンテスト等で使用したログのコピーで不必要なもの、重複局等を線引き等で抹消したものは失格 ○オールバンドのログは、各バンドごとに用紙を分けて記載。交信数が1局でも1枚の用紙に記載 ○交信局数が200局以上はそのバンドのコールサイン順によるチェックリスト(重複交信を確認するため交信数を記入)、チェックリストがない場合は失格 ※下記専用ログソフトを使用した場合チェックリスト不要。専用のログ作成ソフトを用意、HPより今年度用をダウンロード ※過年度ソフト使用はすべて1点扱い。電話部門、電信部門はデータ読み込の際に切替で利用 <失格>○電波法の違反行為、提出書類の不備(当規約を満たしていないもの、架空交信の疑い(捏造も含む)のある記録等、ログシート、サマリーシートの欠如)等 <発表>11月末までにHP(https://jq1yrb-ham.jimdofree.com)「七タコンテストのコーナー」に順位を付けて発表、入賞者のみCQ誌、JARL NEWS等に掲載予定 <参加者>ログ提出者は、100円切手2枚(200円分)を必ず同封(厳守)。順位を記入した結果発表と、次のコンテストの案内書を送付 ※切手の同封がない場合は、賞状等すべての資料を送りません <賞状>参加部門、種目ごとに申請局数が10局まで:1位、11局~20局:2位、21局以上:3位までの各入賞者に、A4判の素敵な賞状 <特別賞>各部門ごとに末尾7位(7, 17, 27, 37等)の方に無料で贈る ※各種賞状等は、順位表と同封 <アワード>15周年記念として下記の各賞を無料で贈る ○天の川賞:今回で参加7回目を迎えた方 ※不受理者を除

く ○金星(キンセイ)賞:今回迄に十年以上をと共に歩実続けてきた方 ○銀河宇宙賞:今回まで続けて15回の参加をと共に歩実続けてきた方 ○番号は前回の天の川賞を引き継ぎ通し番号で受付順 図SASEまたはEメール(jq1yrb@jarl.com) ※電話での問合せはご遠慮ください ㊦8月10日(火)当日消印有効 ㊦〒300-1266 茨城県つくば市自由ヶ丘809-3 山本豊治 方 七タコンテスト係宛 ※郵送のみ受付 JQ1YRB

第40回大阪2mSSB愛好会 マラソンコンテスト

◇大阪2mSSB愛好会(JL3YBS) 25-4-71 ㊦9月7日(火)00:00~9月14日(火)23:59(8日間) ㊦144MHz帯(幅広く使いましょう) <モード>SSB 図全国のアマチュア無線・個人局(社団局は除く) <部門>大阪2mSSB愛好会会員の部、一般の部 <交信方法>○呼出:CQ大阪マラソンコンテスト ○通常の交信(相手局は個人局に限る)でコールサイン・RSレポートの交換が完全なもの ○大阪2mSSB愛好会会員局はRSレポートの後にメンバー(M)を付ける ○コンテスト期間中の移動運用は日本国内可 <得点>メンバー局:5点 一般局:1点 <マルチブライザー>運用日数(最高8日間) <得点計算>交信局数×合計得点×運用日数 ㊦○ロールコール中の交信は無効 ○同一局との交信は期間中一回のみ有効 ○交信局の中に最低1局メンバー局を含むこと ○失格は大阪2mSSB愛好会コンテスト規約に違反した局 ㊦JARL制定のログ・サマリーシート(若しくはこれに準拠したもの)に所定の事項を記入 ○100局以上交信の局はチェックリストを提出 ○コンピューター打ち出しの書類も形式はJARLに準拠 ※Eメールでの提出は不可。必ず封書にて提出 ○結果表を希望する局は、返信用封筒(住所、氏名、呼出符号、郵便番号を明記して84円切手を貼った定形封筒)を同封 ㊦10月5日(火)(当日の消印有効) <表彰>○大阪2mSSB愛好会会員の部、一般の部 ○上位入賞局、特別賞受賞局は4月開催の当愛好会総会で表彰 ※飛賞あり ㊦〒582-0026 柏原市旭ヶ丘3-1-29 神代満夫(JG3FUU) ㊦Eメール:jg3fuu@jarl.com <その他>コンテスト結果速報は「大阪2mSSB愛好会」のHPに掲載 ※コンテストに参加しコンテストログを提出した局は、来年4月1日~4月7日開催「第16回3エリア2mSSBコンテスト」のBマルチに加点できる

AWARD
アワード
KCJCA (Keymen's Club)

of Japan Contest Award)

◇全国CW同好会 10-4-68 <申請者の移動範囲>日本国内 <サイズ>A4 <外国局>発行 <ルール>○毎年8月開催のKCJコンテストと2月開催のTOPコンテストで、ログ照合されたマルチブライザーを継続的に累計 ○1バンド当たり46都府県と16地域で合計62点とし、1.9~50MHzの7バンド合計で最大434点とする ○基本賞を25点とし、以降は照合済み点数を累計して表記 <発行開始日>10月1日(コンテスト結果発表日) ㊦○コンテスト結果の連絡メールに記載されたURLにアクセスするだけでA4判PDFアワードを無償でダウンロードできる ○申請書は不要、後日QSLを入手しても合算できない ○郵送・紙賞状の郵送希望者は連絡メールで基本賞を完成していることを確認後、下記へ切手280円分(140円切手2枚)を送付・紙ログ提出局はSASEで照合済み点数を問合わせる・〒370-1131 群馬県佐波郡玉村町 齊田 556-36 森 孝之(JI1XSE) 宛 ㊦KCJ HPの左下バナーの「意見・質問」窓口まで ㊦https://kcj-cw.com <その他>○結果連絡メールに記載のURLの有効期間は1ヵ月、それを過ぎたらKCJ HPの「意見・質問」窓口へ ○発行状況はKCJ HPで順次公開

くにたちアワード

国立アマチュア無線クラブ(JA1YBP) 10-1-88 <目的>開局60周年記念。クラブ内の活性化と全体的交信数を増やし無線を楽しむ機会を創る <期間>6月下旬~11月30日 <申請期間>11月1日~12月10日まで ㊦当クラブHPへ(http://www.ja1ybp.rgr.jp/) <アワード発行要件>以下の①~④の条件をすべて満たすこと ①メンバー局と一回以上の交信を必須 ②相手局の呼出符号内からkunitachiの9文字を集める ※iは2局必要 ③メンバー局との交信は9文字の任意の文字に代用できる。2回以上も、その回数分を任意の文字に代用できる ④ほかに既定のレポート交換をした10交信も必須(kunitachiの9文字を集めるのに加えて10交信が必要) ㊦1.8~SHF <使用モード>FM, SSB, AM, CW, APRS, C4FM, D-STAR <メンバー局とは>クラブ内メンバー、全国の協力局、国立市への移動局がすべてメンバー局 <呼出方法>○電話:CQ くにたちアワード, APRS: STATUS ※TEXT中に"CQ KUNITACHI 60"を記述、○上記以外:CQ kuni award <レポート交換>○電話:RS+くにたち, APRS:"CQ KUNITACHI 60"を含むビーコンに対して"KUNITACHI 60"を含むメッセージを送る ○電信:RST+kuni, 上記以外メリット+くにたち(を表現することが必須) メンバー局からは、/Mを付

加 <副賞>(FT3D他) 抽選会、12月18日MS.Teamsで限定公開 ○当局のHPで詳細を確認

青梅市市制施行70周年記念 アワード

青梅アマチュア無線クラブ 10-1-35 <目的>青梅市市制施行70周年に合わせ、アマチュア無線を利用して広く全国に青梅市をアピールするとともに、市内のアマチュア無線愛好者を始めとした全国のアマチュア無線愛好者の活性化に供する <発行者>青梅市長 浜中啓一 <発行対象者>日本国内のアマチュア無線局, SWL ※国外局は除く <アワードの種類と条件>○A賞:一つのバンドで70ポイントを達成 ○B賞:複数のバンドで70ポイントを達成 <ルール>青梅市内から運用するアマチュア無線局と交信(受信)し、下記に定めるポイントを獲得する ○青梅市市制施行70周年特別局(8N10ME)との交信(受信)は20ポイント ※一つのバンドにおいて運用期間中異なる日付で2回までの交信が有効 ○青梅アマチュア無線クラブ局(以下JA1ZYG)との交信(受信)は10ポイント ※一つのバンドにおいて1日1回の交信が有効 ○JA1ZYGメンバー局との交信は5ポイント ○同一局との交信は一つのバンドにおいて1日1回の交信(受信)が有効 ○青梅市内局(移動局を含む)との交信は1回につき1ポイント ※同一局との交信は一つのバンドにおいて1日1回の交信(受信)が有効 ○申請に際し、交信(QSO)もしくは受信(SWL)のいずれかとし、混合は無効 ○8N10ME, JA1ZYGとの交信(受信)を含まなくても有効 ○QSLカードの取得、提出は必要としない ○運用モードはすべてのモードにおいて有効 <希望する特記事項>記入例:HF, U/VHF, CW, デジタル, FM, SSB 例)ONEDAY, 2021/4/15) <有効交信期間>2021年4月1日00:00JST~2022年3月31日24:00JST ※特別局8N10MEの運用は2021年12月31日まで <アワード申請期間>2021年5月1日~2022年6月30日 ㊦○JARL様式のアワード申請用紙、ログシート(エクセル形式) ※JA1ZYG HPに申請用紙、ログシートを掲載(http://ja1zyg.hanamizake.com/award.html) ○申請書は郵送、もしくはメールで受付 ㊦○郵送先 〒198-0036 東京都青梅市河辺町7-19-5 沼田 健一 宛て ○Eメール jq1oku@jarl.com ㊦各アワード申請1回につき500円 ※振込み手数料等は申請者が負担 ○定額小為替 ○ゆうちょ銀行からゆうちょ銀行へ振込 ゆうちょ銀行 東青梅支店(記号)10110(口座番号)86954751 代表 青梅アマチュア無線クラブ 沼田健一 ○ゆうちょ銀行以外の

金融機関から振込 ゆうちょ銀行 東青梅支店 (店名) ○一八(ゼロ イチ ハチ) 018 預金種目: 普通預金 口座番号 86954751 代表 青梅アマチュア無線クラブ 沼田 健一

長崎開港450周年 記念アワード

◇長崎アワードハンターズクラブ (JH6YDL) 42-4-1 ☎1571年のポルトガル貿易船入港以来、2021年で長崎港が開港450周年を迎えます。アマチュア無線にて広報の手伝いをできればと企画 <発行>4月1日より限定100枚 ※早期に枚数に達した場合は増販もあり

<サイズ>A4横型 カラー <基本ルール>○ロゴ内にある「NAGASAKI PORT 450th ANNIVERSARY」をコールサインのサフィックスのテールレターで綴り完成 ※450の数字はエリア番号(テールレターは問わず4, 5, 0エリアを加える)。アルファベット25文字, 数字3文字, 合計28文字で構成 ○長崎県内局との交信または受信は代用可 ※代用枚数は不問○綴りの4, 5, 0は長崎県内局3名を代用しても構いません ○QSLカードの取得有無は不問(ログ形式リストで確認できること)。自己宣誓形式 ○申請書式はJARL様式に準じるが私製申請書, 交信, 受信リストで可能 ○交信は1局のみで同

一局との交信または受信のみで、時間、日が違っての重複交信または受信は不可 ○交信、受信の有効期間は設けてない ○特記事項はモノバンド、モノモード ○移動範囲は不問 〓500円 ※定額小為替にて送付 ○発行枚数を100枚限定 ※早期に発完了場合は追加発行もあり 〓〒850-0037 長崎県長崎市金屋町9番9 703号 JARL長崎アワードハンターズクラブ事務局 田尻 靖雄 宛 〓ja6uby@jarl.com ☎090-8410-7388 ※2013年6月30日にて世界遺産登録の「長崎の教会群とキリスト教関連世界遺産」「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」のアワードも発行中

QSP

会員の情報広場

本欄は、JARL会員の皆さんのおこなう行事等を掲載しています。(原稿ご送稿の文字数などは、クラブニュース欄と同様です)

イベント

第20回全国ネットワーク 非常通信のための 非常通信訓練ロールコール

Team7043(全国アマチュア無線非常通信ボランティア団体) ☎災害に備え、情報収集の訓練と防災・減災の意識高揚を目指します 〓9月5日(日)08:00~12:00 〓日本国内のアマチュア無線局 〓7MHz~1200MHz(予定) 7.050MHz(仮対策本部) 7.123MHz(予備) <内容>08:00~09:00JARL鹿児島県支部関係者、鹿児島県局、防災関係者優先09:00~09:57 QRP/BATT運用者対象チェックイン、10:00~12:00一般局、エリア指定あり SSB/CW/DV/AM/FM/D-Star/C4FM/PSK31日本語 Wires-X(#20740, #22281, #29999) <交信方法>RS(T)交換+JCC+JCG+OP+(簡易電文) <呼出方法>SSB/FM/AM/DV/PSK日本語「CQ訓練、CQ訓練」CWの場合「CQ KUNREN CQ KUNREN」○Webロールコール同時併用(SNSを使って電文伝達訓練を実施、Team7043推薦電文公式に基づく、詳細はTeam7043ブログで公開)○電文受付は下記Eメールにて※無線機がない、そのバンドに出られないと言われる方も電文伝達訓練ができます。ぜひ参加ください。詳細は、Team7043ブログ(<http://team7043.blog.fc2.com/>)参照。当日のタイムテーブル(案)は既に公開 ※災害が予想される場合は訓練中止。当日は、7.050MHz非常通信局

波数を空けていただきますよう協力をお願いします。次回2022年3月6日第21回非常通信訓練ロールコールを予定 〓Team7043(全国アマチュア無線非常通信ボランティア団体) 代表 JH3DMQ 水谷宗弘 〓jh3dmq@jarl.com

コンテスト

第34回エスカルゴ 6mCW コンテスト

◇エスカルゴ(SCALG) ☎移動局部門の設定に関するお知らせ:緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の地域が一つでもある場合、コロナウイルス感染拡大防止のため、部門③、④の移動局部門の設定を見送る ※コンテスト開催日に一つでも宣言が出されている地域があれば移動をせずに、自宅で運用してください。③または④の「移動局部門」にエントリーしても、提出書類はチェックログ扱い。開催目的:縦振電鍵使用局同士、初心者~OMまで電信交信を楽しむこと 〓7月22日(木/祝)10:00~12:00(JST・時報まで) 〓部門別に国内のアマチュア個人局、社団局、SWL ※社団局はビギナー、シニアのうちいずれかの部門で、かつシングルオペに限る <使用電鍵>縦振電鍵またはエスカルゴ縦振電鍵定義(電鍵操作者が電鍵を押している時間と送信機から搬送波が連続して出力される時間が、一対一になるもの)に合致した代用品に限る ※質問は末尾の「問合せ」項目にしたがい照会 〓50MHz(JARL主催コンテスト使用周波数帯) <モード>CW(A1A) <参加部門>〔番号、名称〕次の①~⑦のいずれ

か1つの部門 ①固定局 ②固定局QRP ③移動局(緊急事態宣言または、まん延防止等重点措置が総ての地域で解除された場合に限り設定) ④移動局QRP(緊急事態宣言または、まん延防止等重点措置が総ての地域で解除された場合に限り設定) ⑤ビギナー局(CW従免初取得日が前回開催日2020年7月23日以降取得の局) ⑥シニア局(開催日に満70歳以上の局) ⑦SWL <エスカルゴにおける移動局の定義>コンテストに参加する目的で移動している局 ※移動先は既設の無線設備がなく既設の電源もない場所であること <参加上の注意>○参加部門③④はエスカルゴにおける移動局の定義による運用 ※第34回の移動局部門の設定に関するお知らせに該当するときに移動運用で書類提出した場合は総てチェックログとして処理 ○シニア局部門:固定・移動、QRPの区別をしない ○QRPは出力5W以下 ○ビギナー局は該当する部門以外への参加可(エントリーは1つのみ) ○参加部門(丸数字、部門名)を必ず明記 <呼出方法>CQ SC TEST <コンテストナンバー>RST+CW従免初取得年(西暦の下2ケタ) ※RSTの原則に基づいたレポート交換を推奨 <得点>完全な交信で1点、SWLは受信で1点 <マルチプライヤー>完全な交信または受信局のCW従免初取得年(2ケタ) ※第34回のマルチは51~99, 00~21のいずれか。マルチの初取得年は取得従免を確認し虚偽通信にならぬよう注意。相手局から上記に該当しないマルチを送られた場合の得点は「1」、マルチは「無効」 <総得点>得点×マルチの数 〓JARL主催コンテスト用サマリーシート、ログシートに限る(原紙、複写ではないオリジナルに限り旧様式のB5判も受付。不足の項目は加筆)。ログ、サマリーは別々の用紙(最低2枚)で提出 ※1枚の場合は審査の対象外 <サマリーシート記入上の注意>○申請者の自署があれば捺印不要 ○次の1, 2は必須とし、3~5は該当する方のみ「意見欄」または「使用設備欄」に、必ず頭に番号(数字に丸)を付して記入

1CW従免初取得年(西暦)。ピギナー局部門に参加する局は年月日、シニア局部門に該当する局は生年(西暦)も記入 2使用電鍵(メーカー名、型式、SC認定電鍵使用局は認定コード、自作やメーカー名、型式が不明のときや代用品を使用した場合は必ず写真添付) ※エスカルゴ縦振電鍵定義と合致する方法(エレキーの手動モードなど)でパドルを使用して参加のときは操作説明を記述 3.②④部門に参加する局は運用出力を明記 4社団局が参加する時は運用者の氏名を明記 5③④部門に参加する局は移動地(例:○○県○○市、JCC#)を明記(JCC等のコードのみは不可) <失格・減点>○社団局がピギナー局部門・シニア局部門以外に参加した場合 ○サマリーシート記入上の注意に該当する場合の記入漏れ ○提出書類の不備 ・サマリーとログシートを別々の用紙で提出しない ・JARL主催コンテスト用サマリーシート、ログシートではない場合(マルチ欄、得点欄を省いたログや電子ログの雛型を印字したサマリーも不可) ○縦振電鍵またはSC縦振電鍵定義に合致しない電鍵(代用品含む)を使用し参加した場合 ○マルチブライヤーの欄で無効のマルチを記入したままサマリーに計上した場合は減点<その他>○SC認定電鍵とは自作等の電鍵が当コンテストにおけるSC縦振電鍵定義と合致した電鍵類をいい、当該電鍵類に付与した番号をSC認定電鍵コード ○集計結果に申告電鍵を併記、公表する場合がある ○上記および書類受付に関してJARL主催コンテスト規約に準じるが最終決定はエスカルゴコンテスト委員会がおこなう 8月5日(木)消印有効 ※消印を確認できない送付物は8月6日(金)到着分までを受付の対象 9〒351-0101和光市白子2-27-52 中澤方 エスカルゴコンテスト係 不明な点は往復葉書または必要に応じてSASE同封で提出先に、7月16日(金)必着 ○集計かわり版(結果表)を希望する方はSASE同封(切手のみは不可)

第31回 県北430CQ大会

◇県北430CQクラブ(JE7YGX) 9月3日(金)18:00~5日(日)21:00までの3日間 国内で運用するアマチュア無線局 430FM(F3E) ※CQコンテストなどの呼出しはしない <移動範囲>移動変更制限なし <交信相手>国内のアマチュア無線局 <得点>○完全な交信で1点(コールサイン、シグナルレポート、運用場所など) ○同一局とは日付が変わればマルチも得点も加算できる ○YGXや個人局との交信は最大3回まで可能 <マルチブライヤー>福島県を除く都道府県:1点、福島県内の市町:1点、村:2点、JE7YGXとの交信:2点 ※都道府県、福島県内市町村マルチは1回のみ有効 <

総得点>交信局数(得点)×マルチの合計 <ギネス賞>自己申告制 ○DX賞(交信相手との直線での最長距離) ○最多マルチ賞 ○その他自己申請可 ※面白い運用場所、0.1Wで確信、ジェットコースターから運用、YL局とたくさん交信した、観覧車から交信とかその他なんでも可。意見欄に明記 <無効交信>クロスバンド交信、レピータ使用、ブレークイン、ダイレクトコール、デジタル交信 <表彰>○3位まで賞状と記念品。ギネス賞は賞状のみ ○特別表彰、福島県内の市町村30以上と交信達成の局へ記念品授与 ※賞状、記念品は郵送 9JARL形式ログシートサマリーシート ○ギネス賞参加局は該当交信欄に朱印し内容を意見欄に記入 ○福島県市町村30達成局も意見欄へ朱印 申 〒969-1617 福島県伊達郡桑折町陣屋76 花井好光 10月2日(土)当日消印有効厳守 ※花井まで手渡し可 11Eメール:ji7fyk@jarl.com 花井 <結果発表>10月20日以後予定。サマリーシートにメールアドレス記載局にはメールにて。クラブHPにも掲載 ○今年度のアイボール会は新型コロナウイルス蔓延のために中止

2021年第32回 全国高等学校 アマチュア無線コンテスト

◇全国高等学校アマチュア無線連盟(全国高等学校文化連盟アマチュア無線専門部設立準備会) 12マルチオベレタを含めて規約通り開催。参加される際には、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、手洗いの徹底・マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保、密閉・密集・密接となる行動を避けるよう、参加者は各自注意。緊急事態宣言等が発令された場合の対応については、開催2週間前に公式ウェブサイト(<http://hstest.mg-sci.com/>)で告知。締切が他のコンテストよりもかなり早いので注意 13 8月29日(日)13:00JST~16:00JST 14 7/21/50/144/430MHz帯 <電波型式>CW・SSB・AM・FM ※長時間のチャンネル占有を避け一般局に妨害を与えないこと。JARLコンテスト使用周波数帯厳守 15 国内・国外のアマチュア局、SWL(アマチュア無線の電波を受信する個人) <呼出>「CQ 高校コンテスト」「CQ HS TEST」 <コンテストナンバー>RS(T)+都府県支庁ナンバー(海外局の場合は00(ゼロゼロ))+記号(高校生:HS・その他:C) <得点>○アマチュア局:電話1点、電信3点 ※一般局同士の交信も有効。同一バンドで電話と電信とで重複交信した場合は、電信の得点とマルチのみを計上 ○SWL:送信、受信局のコールサインならびに送信局の送出したコンテストナンバーの受信で電話1点、電信3点

※一般局同士の交信も有効 ※同一バンドで電話と電信とで重複受信した場合は、電信の得点とマルチのみを計上 <マルチブライヤー>各バンドごとの都府県支庁数とHS局の数の和(合計) <総得点>○アマチュア局:各バンドごとの交信得点の和(合計)×各バンドごとのマルチの和(合計) ○SWL:各バンドごとに受信得点の和(合計)×エリアマルチの和(合計)+HSマルチの和(合計) <部門(コードナンバー)>○高校マルチOP局シングルバンド(hs-m-7, hs-m-21, hs-m-50, hs-m-144, hs-m-430) ○高校マルチOP局マルチバンド(hs-m-m) ○高校シングルOP局シングルバンド(hs-s-7, hs-s-21, hs-s-50, hs-s-144, hs-s-430) ○高校シングルOP局マルチバンド(hs-s-m) ○高校シングルOP局SWL(hs-s-sw) ○一般マルチOP局マルチバンド(c-m-m) ○一般シングルOP局シングルバンド(c-s-7, c-s-21, c-s-50, c-s-144, c-s-430) ○一般シングルOP局マルチバンド(c-s-m) ○一般シングルOP局SWL(c-s-sw) ※ここで言う「高校」とは高等学校の課程に在籍する生徒以下を指す。具体的には、高校生・中学生・中等教育学校生、小学生、小学生以下。外国の政府等が設置した高等学校に準じる学校に在籍する生徒も含む <表彰>参加局数に応じた上位局を表彰 16 高校部門にエントリーする場合、OPとして認められるのは上記「高校」生のみ。社団局で、高校部門にエントリーできないオベレタ(例:高校社団局における、卒業生や顧問)がオベレタした場合は、高校生以下の交信局数が全体の80%以上であること ※参加可能な者以外が交信した場合は、ログの備考欄(Remarks)に交信ごとにその旨が明確になるように記載 ○2%以上の重複交信を得点とした場合、ハガキやWebページでの提出確認を怠って締切後に提出した場合は失格。それ以外はJARLコンテスト規約に準じる <特例事項>主管局のJQ1YKMを含め、OPにかかわらず高抜扱いとする局がある。詳細はWebにて 17 9JARL制定のログ、サマリーシート(同形式書類)にて、全交信をバンドごとにまとめて提出 ○「高校」部門参加局は学校名と学年・氏名・従事者資格(OP全員)を記入(SWLは受信した者、JARL准員ナンバー(あれば)を記入) ○順位表希望者はSASE同封 18 郵送による提出先:〒082-0051 北海道河西郡芽室町東1条南7丁目5-8 正村琢磨方「高校コンテスト」係 ※「高校コンテストログ在中」と朱書き。到着確認希望者は、住所・氏名を書いたハガキを同封 ○電子ログによる受付:形式はJARL主催コンテストの電子ログと同一様式。作成したデータをテキストメールとして次のアドレス(koukoucontest@gmail.com)に送信。サブジェクトは半角英数字で提出局の

コールサイン ※海外からのログの提出は、電子ログに限る ㊟郵送9月10日(金)消印は有効、電子ログ9月13日(月)24:00までに必着 ㊟提出先までSASEかEメール(koukoucontest@gmail.com)で㊟受付提出確認等、すべての情報はhttp://hstest.mg-sci.com/ ※表彰は、ハムフェア期間中に表彰式をおこなう予定 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のために変更や中止になる場合があります

アワード

第15回東京下町花火アワード2021(令和3年)

◇東京下町アワード発行グループ <申請受付>7月1日以降 <アワード発行>8月1日以降 <サイズ>A4 <外国局>発行 <今年の変更点>一般局との交信は2021年1月1日以降が有効、7K2VYO局はメンバーに復帰【花火賞】○交信期間:7月1日~8月31日 ○下記のメンバー局との交信がすべてこの期間内、昨年の交信との混在は無効 ○一般局との交信は1月1日以降が有効、春下町福徳寿アワードで各区と交信していれば流用でOK ※メンバー局は流用不可 <ルール>1下町花火アワードのメンバー局2局と上記交信期間に交信 2葛飾・足立・北・荒川・台東・墨田・江戸川区・江東区の各1局計8局と交信、上記の流用でも可。上記1項のメンバー局が8区内運用の場合は運用区としてカウント、8区外運用の場合は任意の区の代用 3上記1項以外の他のメン

バー局との交信 3.1メンバー局が固定または移動で8区内運用の場合は運用区としてまたは任意区の代用として使える ※4項より同一申請書には日が異なる2回限り ○別のメンバー局との交信は前記と同様に扱う ○ある区の一般局と交信すれば、その区のメンバー局との交信を他区の代用に使える ※代用は2項と合わせて2区まで 3.2メンバー局が8区外運用の場合は1回目の交信に限り任意区の代用として使える、2回目の交信は3.1項の8区内運用と同様に扱う。3.1項の8区内運用メンバー局による代用2区と本3.2項の8区外運用メンバー局による代用2区と合わせて代用は8区中の最大4区まで 41枚の申請書でメンバー局との交信は代用を含めて局あたり日が異なる2回限り、一般局との交信は固定と移動を含め局あたり日が異なる2回限り【下町賞】交信期間:下記1項と3項は7月1日~8月31日、2項は1月1日以降12月31日 <ルール>1下町花火アワードのメンバー局1局と交信、この交信は花火賞での交信とは重複不可、同一メンバー局なら日が異なる別交信が必要。ただし50MHz以上の周波数帯を使い運用地が1エリア以外ならメンバー局の代わりに2021年に花火大会が開催されるいずれかの市区町村と交信 2コールサインのラストレターでDOWNTOWN HANABI(計14文字)をすべて異なる局でかつ運用地が異なる市区町村の局で綴る 3上記1項によるメンバー局等との交信により任意1文字として使える。他メンバー局または1項ただし書きの場合には他花火大会開催の市区町村との交信により別の任

意1文字として、合計2文字まで使える【両賞の共通事項】○両賞間の重複は認めない、同一局(メンバー局、一般局)の日が異なる別交信は認める ○バンド/モードは各局免許範囲内で自由 ○各クラブのロールコール時の交信はRSを記録すれば有効 ○コンテストでの交信は運用区が分かれば有効【メンバー局】JA1DTS/JA1IQK/JE1FID/JJ1CWX/7N1RFC/7K2VYO/JH0HOD/nなどすべてACCメンバー、DTSはJAGメンバー ㊟申請者の移動範囲制限:不要 ○アワード申請:カード取得はなし、2022年1月31日まで ○申請書(JARL様式)C(自己宣誓されたもの)+交信記録リスト(花火賞は備考欄に区名を記入)(下町賞で1項ただし書きの場合は備考欄に花火大会名と相手局の運用地名を記入)(下町賞で2項は備考欄に運用地名またはQTHコードを記入)+申請料(送料含む)の定額小為替500円(無記入)/賞、2賞で1,000円、B/P(障害者手帳所持者)は200円/賞(申請書に記入すれば手帳コピーは不要) ○JARL会員はゆうちょ銀行記号10120-2 番号50965841 タバスムへの振込も可。振込通知書のコピーを申請書に同封、またはメールによる申請の際は件名に花火申請・コールサインを記入し、振込通知書の写真を添付 <特記と申請回数>特記は希望事項、特記が異なれば何回でも申請可、全申請を通じて1つの交信は1申請のみに有効 ㊟〒131-0032 東京都墨田区東向島3-16-16 JA1IQK 田場 征 ㊟accq1k@gmail.com

地方だより追加分

三重県

FOX2021(フォックスハンティング)

緑あふれる鈴鹿の山々と伊勢湾を望める広大な景観ワールドでフォックスハンティングを楽しみましょう。ハンディートランシーバー(内蔵アンテナ)だけでも楽しめるように、無指向性アンテナと指向性アンテナの2部門を設けています ※感染予防の対策をして、参加をお願いします

日時 9月19日(日) 受付開始12:30 開会13:00

場所 三重県民の森 〒510-1251 三重県三重郡菰野町千草7181-3 ☎059-394-2350

集合場所 三重県民の森・ふれあいの館

競技周波数帯 144MHz, FM

参加部門 ○指向性アンテナ部門 ○無指向性アンテナ部門

参加費 JARL会員:100円 非会員:200円

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止の場合もあります ※詳細は支部HP(<http://jarl-mie.com/>)参照

JARL入会感謝キャンペーン

期間中JARLに入会すると、QUOカードなどをプレゼント。紹介者・ライフメンバーにもプレゼント

期間 2021年4月1日~2022年3月15日

対象者 期間中に入会された正員・社団会員・准員またはライフメンバーで正員に準じた年会費を支払われた方(注2)、入会の紹介者(注3)で、本年度の三重県支部大会に出席(注1)できる方(注1)三重県内の新規入会会員と紹介者はこの限りではありません ※支部大会に欠席しても内容③を除き対象。支部大会は、11月21日(日)亀山市内の予定(注2)ライフメンバーは先着20名の方限定(注3)入会紹介者はJARL会員で一人1回(1口)に限る(注4)JARL本部キャンペーン「青少年お試し入会」との併用不可

内容 下記①②③を対象者にプレゼント ①入会者にQUOカード1,000円相当分 ②ライフメンバー、入会紹介者にQUOカード500円相当分 ③対象者のコールサインを印刷した三重県支部発行のQSLカード(J-カード)を50枚(注5)注5)支部大会出席者で支部大会の1週間前までに事前連絡された方を対象(コールサイン印刷時間必要のため)注6)三重県内の入会者と紹介者の方で、支部大会に出席できない方には①または②のみ郵送

申込み方法・詳細は、支部HP JARL入会感謝キャンペーンページ参照